であるかんだより終め。65

◆発行 2015.6 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所「昭和50年 真室川災害」~あれから40年~



立谷沢川上流域は荒廃が激しいため、最上川に大量の土砂が流出しており、昭和初期では酒田港が土砂で埋め尽くされると言われたほどでした。

このため、昭和12年から国直轄事業として砂防施設整備に着手し、これまで44基の砂防堰堤(※1)と、21kmの渓流保全工(※2)を整備しています。

なお、契約済みの今年度の工事は以下の2件です。



1 最上川水系立谷沢川流域 東大沢砂防堰堤工事工期 : H27.2.27 ~ H27.11.30 施工業者 : 佐藤建設 株式会社

昨年度に引き続き、今年度も砂防堰堤の一部(主堰堤、側壁、水叩き、垂直壁)を造ります。



最上川水系立谷沢川流域 濁沢ほか整備工事 工期 : H27.3.13~H27.10.2 施工業者 : 株式会社 柿﨑工務所

平成23年に発生した濁沢大崩落で埋没・破損した 既設砂防堰堤の腹付け(副堰堤)の施工及び崩落 土砂の除石を行います。

|※1 砂防堰堤・・・山間部の谷や斜面から流れ出て、洪水時に河川の氾濫の元となる土砂の流出や、家や田畑を一瞬にして押し流してしまう土石流を防いでくれるのが砂防堰堤です。出水時に流れてくる土砂を防いだり減らしたりすることによって災害を防いでくれます。

※2 渓流保全工・・・・川はいつも決まった場所を流れるわけではなく、右に左に方向を変えて流れるため、川岸が削られ家や田畑 が流されないように、自然(生態系)に配慮し、護岸工等の整備を行い川の流れを固定し災害を防ぎます。

6月は『土砂災害防止月間

昨年も全国各地で1、184件もの土砂災害が発生し、特に8月に 広島県広島市で発生した土砂災害は記憶に新しく、未だに被災地に深 い傷跡を残しています。6月~7月の梅雨前線豪雨や夏から秋の台風 による大雨によって全国各地でがけ崩れや土石流による被害が発生し、 土砂災害対策の重要性が改めて認識されています。

山形県内でも4年前の5月に庄内町濁沢右岸池ノ台地区で大規 模な深層崩壊が発生したり、昨年の7月には上山市や西置賜郡白 鷹町で土石流やがけ崩れが発生し、現在も対策が行われているなど、 私たちの身近なところでも土砂災害が起きています。

土砂災害にあわないためには、行政側の「知らせる努力」と住民 側の「知る努力」がたいへん重要になります。事前に自分の住んで いるところの土砂災害危険箇所を、役場やインターネット、庄内町 が各ご家庭に配布している「土砂災害ハザードマップ」で確認し、 さらに避難場所の確認や、懐中電灯やラジオなどの防災用品を備えて おくことも重要です。土砂災害警戒情報はテレビだけでなくイン ターネットや携帯電話からも確認できます。警報が発令されたら、 早めに安全な場所に避難しましょう。

今年も梅雨に入り、早くも土砂災害が発生している地域があります。 自分の住んでいる町は大丈夫と思わず、しっかりと「そのとき」に備 えましょう。





新庄河川事務所では、昨年に引き続き「第2回 あなたの心に残る 砂防堰堤写真募集」を行っています。立谷沢川砂防出張所管内では、「六 渕砂防堰堤」「瀬場砂防堰堤」「玉川第六砂防堰堤」「立谷沢川流路工(渓 流保全工)」「科沢川砂防堰堤+流路工」の5基が対象です。

募集期限は平成27年9月30日です。皆様の応募をお待ちしております。

詳しくは、新庄河川 事務所ホームページ をご覧ください。



こちらの QR⊐-ドからも ご覧いた だけます



六渕砂防堰堤



瀬場砂防堰堤

さきちゃんだよ

希望の「き

をとり、親しみが持て るよう「さきちゃんだ より」とネーミングし ました!

〒999-6601

東田川郡庄内町狩川字堅田20-23

TEL 0234-56-2050

FAX 0234-56-2081

http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou 立谷沢川砂防出張所ページをご覧ください

~砂防資料館~ 開館日:平日のみ

(土日・祝日は閉館しておりますが、事前に

<u>予約があれば開館します。)</u>

